

令和5年6月6日

令和4年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学
東京歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価

学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 副校長)
- ② 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)
- ③ 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ④ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ⑤ 三宅 みちる (32回卒業生)

学内委員

- ① 佐々木 ひろみ (学校長)
- ② 李 昌一 (副校長)
- ③ 儀我 有子 (教務主任)
- ④ 齊藤 和臣 (広報部長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第4回）
開催日時	2023年6月に開催を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催といたしました。
場所	
委員 （敬称略）	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校副校長） 富田 基子（東京都歯科衛生士会顧問） 功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長） 櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長） 三宅 みちる（32回卒業生） 佐々木 ひろみ（学校長） 李 昌一（副校長） 儀我 有子（教務主任） 齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）
配布資料	2022年度 学校自己評価報告書
結果報告等	集約した意見は「令和4年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書」にまとめた通り。

以上

2022年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

＜適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点＞

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<p>【成果と課題】 ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。</p>	<p>・項目全て適切に行われているということは素晴らしい実績となっていると思います。このまま貴校の理念を受け継ぐ歯科衛生士が増えていくことを願っております。</p> <p>・教育機関として極めて真つ当な目標を掲げられていて、学生の皆さんに配布されるオリエンテーション資料からも十分に伝わってきます。ただしそれを全学年に実践させるのはまた別かもしれません。私の勤務校では自校教育に力点を置くことで教育理念や目標の理解に取り組んでいます。</p> <p>・卒業生の講話は学生にとって感銘を受けやすいと思うので続けて欲しいと思います。特に卒業間もない方や年齢の近い方でしたら共感しやすいと思います。</p> <p>・学則やホームページ、先生方の日常より適切であると評価いたします。</p>
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4	<p>・1、3学年の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。</p>	
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	<p>・教育理念・目的・育成人材像は定められていると考える。オープンキャンパスを通じても周知されていると感じ、それに共感して入学する者も多数いると思う。</p>	
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	<p>【今後の改善方策】 ・学校の理念・目的に基づく人材育成を実践していく次世代の教職員を育成していくこと。</p> <p>・教育理念・目標は学校の基盤となるので、引き続き折に触れ何度も繰り返し伝える努力を継続する。</p>	

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	【成果と課題】 ・教員の増員が可能となった。 ・業務改革プロジェクトチームの取り組みにより、教員の業務軽減に繋がった。	・教員が増え業務軽減が実現できたことは学校運営では前向きに取り組んでいる成果だと思います。教職員の残業を減らしながら、より学生たちと向き合える時間が作られると良いと思います。 ・学校運営におけるDXの普及の度合いはどの程度まで進められているのでしょうか。課題としてオンラインでの資料配布や文書の電子化が挙げられていました。コロナ禍の中、大幅に導入が進んだ分野と思いますが、業務効率を向上させる項目として注力したいところです。 ・業務軽減に繋がる成果が出たのは素晴らしいと思います。授業の電子配布に関しては是非進めていただきたいと思います。私の在学中は全て紙資料だったのでかさばりました。電子化になっても大切な事は各自手で書いて覚えると思うので前向きに検討して欲しいと思います。 ・感染対策への規律の敷設や解除のタイミング、何か起きた時の対処、ガバナンスは適切であったと評価いたします。生徒、父母への対応が難しくなっている昨今、適切な運営をされていると評価いたします。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	・国家試験対策DHACSの活用により、教員の業務削減に繋がった。	
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	4	・オンライン講義資料配布方法の改善 ・紙の電子化の継続検討	
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4	【今後の改善方策】 ・本校での学習に必要なソフトを予めインストールした学生全員共通のデバイスを持たせることにより、授業の効率化、資料配布方法の合理化(電子配布)学修の効率化を図る。同時に教職員の負担軽減、業務改善にもつながる。	
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	・将来的には、教務事務を配置し、教員の本来の教育面での業務に専念できるようにしていく必要を感じる。	
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4		
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	3		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	4		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括授業期末試験の実施。 ・実力試験のあり方を検証し時期の変更を実施できた。 ・審美歯科、訪問歯科、インプラントなど新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用、実習先の更なる確保。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤でもよいので、新しい専門分野に関する講義を行う講師を採用し、卒業生がどんな就職先でも困らないように就職先の選択肢を広げるような幅広い基礎知識を身に付けてもらう。 ・法人が開設するサテライトクリニックでの高度な専門分野の実習に対する具体的な介入方法の検討を進める。 ・実力試験該当者の進級後の勉強に向かう姿勢への対策の強化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に新しい分野に関する講師の採用を掲げている注目点が良いと思います。就職先では、審美歯科、訪問歯科、インプラント、光学印象などは当たり前に行われています。時代に即して課題を新しくしていく、内容を積極的に取り入れていくと良いと思います。 ・学生たちにより広い知識、より高い技術を身に付けさせることが第一にあると考えますが、そのための研修や教員の資質向上を自己評価で厳しく見られるのは素晴らしいと思います。この部分の強化がそのまま学校の魅力、強みとして還元されるものですから今後も工夫と改善を進めていただきたいと思います。 ・包括授業の国試形式での期末試験は、3年生にとってためになると思うので素晴らしいと思います。課題にある専門分野の講義を1年生後期か2年生前期に実施し、興味のある分野への臨床実習を選択性で行っても良いのではないかと思います。 ・多岐・多彩な研修先を確保され、生徒の経験にとっても役立っていると思います。教員が親身になって生徒に接している姿を毎回拝見しており、素晴らしいと思います。
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	3		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3		

(4) 学 修 成 果	①	就職率の向上が図られているか	4	【成果と課題】 ・3年生全員の国試受験と100%合格の達成 ・国試対策ソフトDHACSの活用 ・成績不良者のみならず、全体の満足度を挙げ全員で合格する意識を高める対策を講じることができた。 ・夏季休暇前の就職ガイダンスの開催を実現でき、学生への意識づけにも繋がった。 ・卒業生による「卒後のキャリアアップ」講話の実施 ・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。今年もコロナ禍の中で連携が稀薄になってしまった。連携について模索が必要である。	・国家試験の100%合格の達成成果は素晴らしい実績です。今後も引き続き100%を目指してください。卒後のキャリアアップ講話は学生には参考になると思います。 ・国家試験全員の合格が達成されたことが何よりの成果と言えるでしょう。一方で卒業生との連携について今後の課題に挙げられていましたが、医療分野の専門職においては最も注力が求められる点だと思われます。一層の組織力強化が求められます。
	②	資格取得率の向上が図られているか	4		
	③	退学率の低減が図られているか	3		
	④	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3	【今後の改善方策】 ・引き続き国試合格の維持・向上のための対策(TDH版)を作り上げていく事。	・就職ガイダンスが早期に開催されたことは、迷っている学生や漠然としたイメージしか持っていない学生にはとても参考になると思います。
	⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3	・全員共通のタブレット端末と本館でのフリーwifiを導入すれば、オンライン利用の講義や動画、DHACSの活用がしやすくなり、学習効果や資格取得率の向上につながる。	・会食やマスク、その他の制限が概ね解除されつつあり、生徒の心と勉強とプライベートのバランスが取れてくるものと思われます。勉学に集中する時も大切に、また学生生活も楽しく行われている雰囲気をいつも感じております。
				・同窓会で確認している卒業生の活動について、教職員間で共有する。 ・就職の現状についてのアンケートの方法、時期の検討	

(5) 学生 支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より取り入れた求人票閲覧のWeb化により、学生、教員双方に利点があった。 ・高等教育就学支援制度の対象者が増加し、経済的支援を継続している。 ・就職ガイダンスの実施。また、企業による就職活動のアドバイスの実施ができた。 ・高校ガイダンスへの参加が増え、高校生への職業教育に繋がった。 ・コロナ関連で授業に出れない学生もいたが、オンラインの活用により何とか安全に授業を実施することができた。 ・1年生の親睦会を、感染対策を講じながら野外活動として実施できた。 ・既卒生の国試補完授業規定の作成を行った。 ・学校HPで医科歯科連携で開催される研修を紹介したが、コロナ禍の現状で同窓会が動いていない現状がある。 ・既卒生の国試合格に向け、学校としては補完授業の支援体制をとったが、本人の意識づけ・来校を促すことが難しかった。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤紫会役員の意味を尊重しつつ、必要あれば教職員でサポートできるように努める。 ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年を引き続き)の検討。 ・既卒生の国試不合格者への対応の検討を進める。 ・コロナ下禍で縮小したスクールカウンセラーの活用の再開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援が適切とのことで良い結果だと思えます。求人票のWeb化など時代に合わせた対応をされていることや就職ガイダンス、高校ガイダンスなど積極的に学生支援を行っていることがわかりました。 ・世の中ではコロナ禍は収束したかのように扱われていますが、未だにその影響が各方面に及んでいるのは間違いありません。これからもカウンセラーの存在は欠かせないものと思えます。このような学生へのサポートも御校の掲げる建学の精神と通底すると考えます。 ・年齢を問わず社会人入学をした人も性格がデリケートな人は誰にも相談できずに一人で悩んでしまうことがあると思うので、カウンセラーの存在は必須だと思います。月2回ではなく3年生が登校する木曜日は毎週カウンセラーの先生がいらっしゃると思うようになれば心強いと思えます。 ・タブレット、PC、アプリ等の理解が不足している生徒への補講(入学当初)やSNS、Web流出の危険性、デジタルタトゥー等、予防・防止の告知等の実施。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4		
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4		
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	【成果と課題】 ・TAKIホールの音響設備を最新の設備に更新できた。 ・実習効果を向上させるために導入した実習用カメラの活用により、教育効果を高めることができた。	・TAKIホールの音響設備を最新に更新されたこと、口腔外バキュームを実習室に導入されたことなど学生にとって良い環境を整えている様子で、より安心して通学できると思いました。
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3	・実習室に口腔外バキュームを導入することができた。	・実習施設の開設や海外研修の再開については、掛かる経費だけではなく社会情勢が大きく関わるものなので軽々には意見を述べられない部分です。一方、貴重な建造物を校舎として活用されているので防災対策は万全を期していただきたいです。
	③	防災に対する体制は整備されているか	4	・防災ヘルメットの購入を継続し、コロナ禍の中でもできる限りの避難訓練を実施できた。 ・新しい臨地実習先の導入が可能となった。	・実習室の口腔外バキューム導入は卒業生としては羨ましい限りです。時代に沿った設備の導入は学生にとってモチベーションアップに繋がると思います。
				・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。 【今後の改善方策】 ・3階トイレの改修工事。(2023年度の実施決定) ・法人開設の都内サテライトクリニックにおける本校学生の実習の可能性を探る。 ・海外研修についてはコロナ収束後に検討する。	・高い天井、また相互実習室は空気清浄器の設備等実習環境はとても良いと評価します。

(7) 学生の受入れ募集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年連続での定員充足ができています。 ・早期の充足により、教職員の業務削減にも繋がっている。 ・次年度の定員が早期に充足したことはとても素晴らしいことであり、広報担当者をはじめ教職員が一団となり取り組んだ成果であると感じる。 ・オープンキャンパスの教職員の対応は好評を得、募集活動に貢献した。 ・若者(高校生)をターゲットとしたSNS戦略を取り入れ、好評を得ている。(フォロワー数のアップ) ・本校の教育方針を伝えるガイダンスに昨年以上に参加でき、TDH教育を広められ、高校との接触を強化できた。 ・高校との繋がりが強化され、目標としている指定校推薦入学者が増加した。 ・AO入試において適性検査を導入し、入学生の特徴を早期から把握できるようになった。 ・早い時期での充足を実現することができた。 ・HPのリニューアルを行い、見やすいテイストにすることができた。 ・入学金の減額に関して、AO入試による減額を廃止し、推薦入試との差別化を図った。 ・年々国家試験の難易度が上がってきており、国家試験合格には基礎学力の有無も大きくかわっているように感じる。今後は基礎学力、意識の高い学生の人数を増やして定員充足を目指したい。 ・更に歯科衛生士の良さを伝え、意欲のある学生の入学に繋げ、入学生を選抜できるようにする。 ・指定校推薦入学者をさらに増やし、入学生の学力レベルアップをする。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校推薦での入学者を増やすため、高校への広報活動をより活発にしパイプを強化する。そのためにも、丁寧な真面目な指導を行う教育面での成果を教務全体でも意識していく必要がある。 ・学費が他校に比べ比較的安いことを利用し、その分で共通のタブレットPCを購入してもらうのはどうか。 ・eラーニングの導入がしやすく、それにより学習効果が上がれば他校との差別化、学校のアピールにも繋がり、学生募集においても良い影響があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により学生の確保が難しいとされている昨今に早期に定員の募集を確保出来ているとのことで、広報担当者や教職員の取り組みの成果が現れていると思います。また学生への教員の取り組みが良い事が実績に繋がっていると感じました。 ・評価項目の取りまとめの資料でも最も多く紙面を割かれていることから、ご納得いく成果が挙げられたことと推察いたします。募集活動の成否は組織運営の根幹をなす部分でもあり、日頃からの努力が結実したものだと思います。 ・オンライン授業でのタブレット、PCは共通の方が何かと便利だと思うので、「今後の改善方策」の共通のタブレット購入は適切だと思います。 ・5年連続で定員充足がなされているということについて、学校のブランディング、口コミ、先生方の努力、オープンキャンパスの魅力、等素晴らしい活動の賜物と存じます。
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4		
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4		

(8) 財務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	【成果と課題】 ・5年連続しての入学定員充足と休退学者減少による学生在籍数の増加、及び法人変更の好影響により、学校の財務基盤は更に安定し、今年度も経常収支は黒字決算の予定。	・経常収支が黒字決算で推移されているとの報告で、素晴らしいと思います。学生の定員充足に加えて、休退学者の減少に努めていることが良い結果に繋がっていると思います。休退学者へのカウンセラーの起用などの効果が現れており、良い運営だと思えます。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	・財務の安定により、教育に関わる教材、設備等の導入も、教員の要望にできる限り対応することが可能となった。	・ここまで拝見した全ての項目への取り組みの成果が最終的に、この財務状況に集約されると考えます。従いまして全体的に各方面での尽力が好循環を生み出して現在に至っていると言えるでしょう。素晴らしいことだと思います。
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	【今後の改善方策】 ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め現在の在籍数を維持していけば財政基盤は更に安定する。	・休退学者減少は先生方、事務の方々の学生へのケアが学生達に伝わっているのかと思います。
					・定員の充足率、休退学者数減より評価は適切であると思えます。

(9) 法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開している。 ・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。 ・教職員の自己評価において課題や改善策を提起するように促している。 ・問題点の改善に取り組んでいる。 ・広報等で使用する承諾書を全学年取得した。 <p>【今後の改善方策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の遵守が全て適切とのことで、皆様の規律正しさなどが影響されていることと思います。 ・ホームページでも情報、活動公開されており、評価は適切であると思います。
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	4		

(10) 社会貢献 ・ 地域貢献	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、社会、地域との交流は控えている。 ・高齢者施設での「健康講座」を3年生対象に年2回取り入れ実施できている。 ・臨地実習を通じて積極的にかかわれていると思う。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。 ・外部団体に対する社会貢献の強化。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を講じながら、積極的に地域にアピールし、イベント、社会貢献活動を再開していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。積極的にアピールしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で外部との接触を避けることが政府より求められていましたが、感染症5類に引き下げられたことにより今後、社会地域へのボランティア活動が再開されると思います。学生の時に積極的にボランティア活動を行うことは良いと思います。 ・コロナ禍においても高齢者施設での「健康講座」を実施するなど努力されている。聞くとところによると東京都歯科衛生士会が2年後に日本歯科衛生学会の開催都道府県となるようですので、学生ボランティアを名乗り出るのも良いのではないのでしょうか。 ・素人ながら歯科衛生の分野でも高齢者医療との関わりが深いものと考えます。地域貢献に際しては高齢者の方々とどう接するかが重要と考えます。学生の方々が医療人として社会で活躍される前段階として、何らから形で高齢者の方々へのボランティア活動のようなものを展開されてみてはいかがでしょうか。 ・コロナ後はボランティア活動等を拡げていただきたいと思います。 ・コロナにより地域への貢献は確かに制限は必要と思いますが、医療活動の道への学び自体が社会貢献、地域貢献へ通ずるものと、日々畏敬の念を抱かせて頂いております。
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		
	③	地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3		